

小中一貫校だより

「静浦地区小中一貫校基本計画」を策定しました！

魅力ある小中一貫校を建設するための根幹となる「静浦地区小中一貫校基本計画」を策定しましたので、その概要をお知らせします。

未来をひらく三つの絆 ～9年間の連続性・ことば・地域～

○ 静浦地区小中一貫校のねらい

大きな志やビジョンを持つ「夢ある人」を育てるために、子どもの育ちの視点から、9年間の連続性を生かした教育課程を編成し、「生きる力」をはぐくみます。そのために、教職員全体で9年間の子どもの育ちを支え、「ことば」の活用を大切にした学習や異学年交流・地域との交流を通して自尊感情などをはぐくみ、子どもたちが夢や希望を持ち、個々の能力・特性に応じて、人生を豊かにするような学びを支えていきます。



静浦中文化祭で合唱する静浦小児童



静浦小運動会で挨拶をする静浦中代表生徒

○ 目指す子どもの姿

- 1 9年間で、大きな志やビジョンを持ち、目標に向け意欲的に努力する子ども
- 2 9年間で、体・徳・知をバランスよくはぐくみ、自分の成長を実感して次の段階へ自ら進んでいける子ども
- 3 同級生や異学年（1～9年）の子ども、地域の人たちとかかわり合う中で、積極的に人とかかわっていこうとする態度をはぐくむとともに、自分のよさと周りの人のよさに気付き、自分も相手も大切にできる子ども
- 4 静浦の人・自然・文化・産業等について深く理解し、静浦の将来について真剣に考え、「ふるさと静浦」を誇り、大切にしていこうとする子ども

○ 基本コンセプト（特徴となる主なもの）

1 9年間の連続性

- 教科等の縦のつながりと教科間及び学校行事等の横のつながりを重視した教育
- 子どもの育ちを重視した4-3-2制の区分で、中1ギャップの解消と3回の最上級生体験

2 ことば

- 学校図書館の充実による読書活動の推進
- ことばを大切にした人間関係づくり
- コミュニケーションの基盤となる「読解力」の育成

3 地域

- 学校と地域の協働で創る双方向の交流
- 「ふるさと静浦」から学ぶ子どもの育成
- 学校・家庭・地域が連携して進める環境教育

施設整備に関する基本的な考え方

静浦地区小中一貫校は施設一体型の小中一貫校とし、9学年のどの子にも利用しやすい施設にするとともに、子どもたちが自然に交流できる場を設けます。

<各施設の整備計画>

- ①校舎…発達の段階への対応、異学年交流の促進、全室中学校基準、校舎の中心に図書館
- ②体育館等…武道の必修化に伴う施設、水深調節が可能なプール
- ③グラウンド…大グラウンド・小グラウンド

<その他の整備計画>

- ①太陽光発電設備 他
- ②「静浦の森」づくり、大グラウンドに防潮林

<経過報告>

① 静浦地区小中一貫校用地取得

9月市議会定例会で、静浦地区小中一貫校の建設事業用地の取得議案が可決されました。

場 所：静浦小学校の南側

所在地：沼津市獅子浜字小濱 3-1 他 15 筆

面 積：16,288.72 m²

(南北約 180m、東西約 90m)

目 的：大グラウンド用地

※現在、市への所有権移転等の登記事務を進めています。



② 志下中通り横断歩道の設置



第1回の小中一貫校推進委員会でも御要望のありました志下中通りの横断歩道につきましては、8月末に設置されました。

また、静浦小学校の志下方面の児童が下校する際に、国道414号を渡って待機する危険を回避するため、伊豆箱根バスの転回場に、バス停を設置していただき、安全に乗車できるようになりました。

平成22年度第2回静浦地区小中一貫校推進委員会の開催

11月9日(火)、静浦地区センターにて第2回委員会を開催しました。現在までの取組についてお知らせするとともに、「静浦地区小中一貫校基本計画」の概要を説明しました。いただいた御意見を生かし、推進委員会を柱に地域の皆様の御理解と御支援をいただきながら、魅力ある地域の学校を築いていきたいと思っております。